

2024_0117「富士山の稜線に沈む夕陽（動画）」日々の理科 3450号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

東京でも「日没」は見られます。しかしそれはほとんどの場合、ビルのすき間や、建物の天井といった人工物に隠れるという現象でしょう。本来の日没は、地平線、水平線、山稜といった、自然の地形や海景に沈む現象です。私は長らくそう美しい日没を見ていないような気がします。

先日、北区の西浮間小学校の先生方と打ち合わせがありました。その学校の理科室から富士山がよく見えるのです。ちょうど日没の時刻になったので、ベランダにカメラを置いて、望遠レンズで夕陽を撮影しました。ちょうど富士山の右稜線（北側の稜線）に太陽が沈んでいきました。大河ドラマ「黄金の日々」のオープニングシーンを思い出しました。

(2024年1月中旬／北区立西浮間小学校)

